

授業科目	メディアリテラシー				単位	1		
履 修	選択	関連資格	日本語教員		ナンバリング	EN10511J		
開講年次	1年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP5-1			
担当教員	岡本 正宏							
授業概要	<p>コンピュータ、インターネット、携帯電話に代表されるように、情報通信技術の進歩は目覚ましいものがある。情報リテラシーとは、狭い意味では、コンピュータ等を用いた情報の整理や情報の発信の技術、能力を意味するが、広くは、情報ネットワークを活用する方法や評価、情報を用いた問題解決方策、情報社会における個人の責任など、倫理的な意味も含まれる。ここでは、情報の活用・発信、情報処理技術、情報と社会生活など、ネットワーク社会における情報全般についての修得を目的としている。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報の活用と発信の仕組みが理解できる。 2. 情報処理技術(アルゴリズム、プログラミングの仕組み、情報の表現法など)が理解できる。 3. 情報と社会生活との関連が理解できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	20	20	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	20	10					30	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)		10	10				20	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)	40		10				50	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
情報の活用・発信、情報処理技術、情報と社会生活など、ネットワーク社会における情報全般についてよく理解し、情報ネットワークを活用する方法や評価、情報を用いた問題解決方策、情報社会における個人の責任などを他の人に精確に伝えることができる。				情報処理技術(アルゴリズム、プログラミングの仕組み、情報の表現法など)の基本的な知識を身につけ、まとめることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:情報の概念、収集・整理、管理、セキュリティー(岡本正宏) 情報リテラシーとは何か、本講義の目的を明確にする。	講義	復習:該当部分の復習	30
2	テーマ:コンピュータの仕組み(ハードウェア)(岡本正宏) コンピュータのハードウェアを理解し、その動作の仕組みを概説する。	講義	復習:該当部分の復習	40
3	テーマ:情報ネットワークの仕組み(岡本正宏) 情報ネットワークの仕組み、特に、メールの送受信の仕組みを概説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	40
4	テーマ:問題解決の方法論(岡本正宏) コンピュータを用いて問題を解決するときの基本方針、手順について概説する。	講義	復習:該当部分の復習	20
5	テーマ:アルゴリズム、プログラミングとは(1)(岡本正宏) 問題解決のための手順(アルゴリズム)、プログラミングとは何なのか?その組み方の基本を概説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	40
6	テーマ:アルゴリズム、プログラミングとは(2)(岡本正宏) 前回に引き続き、プログラミングの組み方をいくつかの例題を通じて理解する。	講義	復習:該当部分の復習	40
7	テーマ:情報のデジタル表現(岡本正宏) 文字、静止画、動画、音などの情報メディアがどのようにつくられ、利用されているのかを理解する。	講義	復習:該当部分の復習	60
8	テーマ:中間試験(岡本正宏) 第1から第7回までの講義内容の筆記試験を行う。	試験	復習:試験内容の再理解	60
9	テーマ:データベース(岡本正宏) データ・ベースとはなにか、その利用法について理解する。	講義	復習:該当部分の復習	30
10	テーマ:セキュリティーを守る技術・情報社会における個人の役割と責任(岡本正宏) コンピュータウイルスから守るための対処法、身の回りで起こるセキュリティーに関する事件と私達がしなければならないこと、してはいけないことを理解する。	講義	復習:該当部分の復習	20
11	テーマ:ホームページの仕組み(岡本正宏) ホームページの仕組みを理解し、どのようにして作りこんでいくのかについて理解する。	講義	復習:該当部分の復習	20
12	テーマ:ホームページを作ってみよう(1)(岡本正宏) ホームページ作成用プログラム(HTML)の基本を理解する。		復習:該当部分の復習	30
13	テーマ:ホームページを作ってみよう(2)(岡本正宏) ページ間のリンク方法、写真の添付等の技術を理解する。	講義	復習:該当部分の復習	30
14	テーマ:ホームページを作ってみよう(3)(岡本正宏) ページの中の表の組み入れ方、動画の作り方等、応用技術を理解する。	講義 レポート	復習:該当部分の復習	60
15	テーマ:総合問題(岡本正宏) 1から14回目までの講義内容を復習し、理解を深める。 定期試験の対策	講義	復習:講義全体の復習	60
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	予備知識が全くなくても大丈夫です。スマホ等で誰もが電子メールやインターネットの恩恵を受けている時代です。そのような環境で、私たちが知っておかねばならない基礎知識、マナーを学ぶ講義です。			
テキスト	実教出版：ネットワーク社会における情報の活用と技術(改訂版)岡田、高橋、藤原編			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に補助プリントを配布する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	インターネット、コンピュータに関するキーワードをテレビや新聞、雑誌などで見つけたら、Google や Yahoo 等の検索エンジンを使って、その意味を調べるように心がけて下さい。			
達成度評価に関するコメント	試験、レポートの内容については、授業の中で指示します。			